



星の城幼稚園 マラソン大会



星城高等学校 秋元希星氏 技術講習会



星城高等学校 東良美氏 技術講習会



星の城幼稚園 雪山遠足

特集

「新しい時代における学校教育に求められるもの」

文部科学省 太田光春氏 … 1 2

石田杯争奪大会 … 2

我が学園70年の歴史を振り返る 吉田 圭子先生 … 3

「心がスッと軽くなるストレスとの上手な付き合い方」

臨床心理士 植木理恵先生 … 4

学園アラカルト … 5 6

星の城幼稚園PR・学園で活躍・永年勤続者・辻井いつ子氏教育講演会 … 7



学園創立70周年記念講演

「新しい時代における 学校教育に求められるもの」 ～教育改革は授業改革から～

文部科学省初等中等教育局視学官 太田 光春氏



「生きる力」をはぐくむという理念のもと、中学校では平成24年度から、高等学校では平成25年度から、新しい学習指導要領に基づく教育課程が実施されます。今回の学習指導要領の改訂に直接携わり、愛知県立高等学校英語科教諭の経験をお持ちの文部科学省初等中等教育局視学官・太田光春氏をお招きし、本学園70周年記念講演として、新しい時代における学校教育のあり方を熱く語っていただきました。

当日は、星城中学校や星城高等学校の先生方が参加され、熱心にメモをとる姿がみられました。以下、主な講演内容を掲載いたします。

はじめに

財団法人日本青少年研究所の調査によれば、「自分が価値のある人間」だと感じている高校生の数が、米国、韓国、中国に比べて日本は低い。これは、先生から認められていないと受け止めている生徒が多いということだろう。

また、PISA(OECD生徒の学習到達度に関する国際的な調査)において、素晴らしい成績を残しているフィンランドの教育は、「人が財産」であり、「Every child matters、誰も皆すべての子供達が大切である」という考え方が浸透している。また、学力の底上げ対策としてわからない生徒に早期介入し対応している。

学校では

「Ends」と「Means」を混同してはいけない。あくまで子どものために学校があるということ。学校の使命とは、「生涯に渡り自ら学ぶ自立した人間を育てること」であり、学校にて学ぶ勇気や自信を与えられたかが重要である。

また、今いい点数をとる、いい大学に進むということよりも、生涯にわたって学び続けることの大切さを教えることが重要。

学習の主体は生徒であり、まずは、「decision making 自分の考えを持つ力を育てること」さらには、生徒が自分の意見を言える雰囲気づくりをすることが大切である。

英語の授業は英語で実践。水につけないでどうやって泳がせる?(英語による)言語活動の充実を目標とすべく、今県立高校は急速に授業を変革している。自分が受けた教育をそのまま教えるのではなく、時代に合わせて教えることが必要。

教師は生徒を支援し続ける姿勢を大切にすること。褒めることで生徒は自信をもち、生涯に渡り学ぼうという意欲がわいてくる。また、コミュニケーション能力の育成を目指しつつ、「今日は何人の生徒に勇気を与えたか」「自信を打ち砕いてしまったか」を常に自問自答して欲しい。

評価すること

新学習指導要領では、評価の観点を①基礎的な知識・技能②問題解決のための思考力、判断力、表現力③主体的に取り組む態度としている。この観点で正しく評価していく必要がある。試験80点、平常点20点という知識注入型の評価は、生きた化石ともいえる。

評価することによって、さらに学ぶ意欲を持たせることができたか、失った自信を回復できるようにしたか、という学びの変化を求めることである。

テストを実施したら、アセスメントによって教え方をチェックし、その状況に応じて変えることが大切であり、学び方や学習方略をもとに今後の目標達成を考えることが重要。

教師として

「コミュニケーション能力の育成」を意識した授業実践をしてほしい。

「僕達(子どもたち)を何とかしようという情熱にあふれている」「胸がキュンとなる授業を心がける」「子どもたちの学びの可能性を育ませる」といったことを意識して実践することが大切である。

教師は、授業、指導を通して「生徒たちに自信と勇気を与えること」「つまづいている生徒に手を差し伸べて手助けをすること」が大切であり、そのためには、日々、質を高めるための努力を惜しんではいけない。

学園創立70周年記念大会

石田杯争奪大会

毎年、県内中学生を招待して行われる石田杯争奪大会。

今年度は創立70周年記念大会として盛大に開催されています。

【予告】

バスケットボール大会

3/10(土)・11(日)

星城高校明徳館

第26回柔道大会

平成23年12月3日

会場：星城高校 修徳館

団体・個人戦あわせ33校、約200人が参加。団体戦優勝校には文部科学大臣奨励賞を授与。全日本柔道連盟60kg級シニア強化選手の秋元希星氏による技術講習会を企画するなど、例年に比べ盛況でした。



■団体の部

優勝 みよし市立北中学校
準優勝 常滑市立鬼崎中学校
第3位 豊明市立沓掛中学校
第3位 西尾市立吉良中学校

第25回ソフトボール大会

平成23年12月10、11日

会場：星城高校 グランド

豊明市の沓掛中学校はじめ16校を招待、決勝戦では最終回に大逆転となるなど、大いに盛り上がりました。



優勝 名古屋市立日比野中学校
準優勝 安城市立安城北中学校
第3位 岡崎市立矢作北中学校
第3位 蟹江町立蟹江中学校

第29回剣道大会

平成24年1月22日

会場：星城高校 明徳館

男子76校、女子67校の1000人を超える選手で埋め尽くされました。技術講習会では、平成23年度全日本選手権八段大会優勝、世界選手権全日本コーチを務められている東良美氏による掛け声で、一斉に大きな声で素振りを行う壮観な姿が見られました。



■女子団体の部

■男子団体の部

優勝 西尾市立西尾中 優勝 西尾市立平坂中
準優勝 西尾市立福地中 準優勝 常滑市立青海中
第3位 西尾市立平坂中 第3位 岡崎市立矢作北中
第3位 西尾市立鶴城中 第3位 名古屋市立東陵中

我が学園70年の 歴史を振り返る…



開園時の先生方
(吉田先生 右から3番目)

星の城幼稚園 元副園長 吉田 圭子 先生



吉田先生は、石田鍬徳先生の招聘を受け、昭和46年9月に就任。
2か月後の開園に向け、カリキュラムなどを準備。
新しく建設された「豊明団地」への入居に合わせて開園された
星の城幼稚園の基礎づくり、発展、維持に努められました。
開園当時の思い出を語っていただきました。

桶狭間出陣太鼓のはじまり

昭和50年代だったと記憶しております。岐阜県で幼稚園の研修大会が行われ鍬徳園長先生はじめ、教員全員が参加しました。その会のアトラクションで、羽島市の幼稚園児によるとも立派な和太鼓の演奏がありました。園長先生はそれをご覧になった後、「吉田先生、星の城幼稚園にも和太鼓の指導を取り入れよう」とおっしゃったのです。和太鼓のことなど全然知りませんでしたので、それを園児に指導することなど、どうしたらよいのか何日も考えました。まず出演された幼稚園の園長先生にお話を伺うため、先生達と数回に渡りその幼稚園を訪問し、一から親切に教えていただきました。そして太鼓の種類、ばちの使い方、衣装など、園内でも何度も先生たちと話し合いました。



現在の桶狭間出陣太鼓の様子

幸いにも先方の園長先生が熱心に指導して下さいましたこと、当園の先生達が真剣に園児と向き合い一生懸命に指導してくれたことが、あの立派な星の城幼稚園の和太鼓演奏につながったと思います。私はその努力に頭の下がる思いでした。指導の結果、年長児が全員参加出来るようになりました。

豊明市には有名な桶狭間の古戦場があります。それに因んで出陣の様子を振り付け、とても勇ましい姿になりました。そして「桶狭間出陣太鼓」と名付け、立派な羽織も用意しました。園児たちは一人も落伍することなく毎年受け継がれていきました。

絵本で育まれる温かい心

開園当初より園内には何百冊もの多くの絵本がありました。園の教育顧問をお願いした原昌先生のご指導で園児に絵本の読み聞かせをして豊かな心を育てていきました。もちろん保育室の中で、一人で読んで楽しんでいる子供もいました。絵本で育まれた温かい心は、大人になっても生き続けていると思っております。行事中の作品展、生活発表会などは全て先生と園児が話し合い、絵本の中から題材を選び取り入れていったものです。

豊明団地内マラソン大会

当時としては、幼稚園がマラソン大会を行うのは珍しかったと思います。年齢、男女、距離をそれぞれに分けて幼稚園をスタート・ゴールにして団地中を走りました。園児たちは毎日練習を重ねてマラソン大会に臨みました。寒い風の中、頬を真っ赤にしてゴールに向かって走る姿は大変げなげです。沿道の大勢の保護者の声援を受けながら、誰一人リタイアをせず走り続け、見ているものの心を打ちました。

「はい、ありがとう、ごめんなさい」と言える星の城幼稚園の卒園児たちは立派に成長し、現在の日本の社会を荷い大活躍をしていると思います。
名古屋石田学園の未来に向かって益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



今年2月20日のマラソン大会

学園創立70周年記念 専門学校 星城大学リハビリテーション学院同窓会 星誕会 5周年 記念講演

「心がスツと軽くなるストレスとの上手な付き合い方」

11月27日に行われた記念式典に、「ホンマでっか!?TV」をはじめ数々のメディアでご活躍中の植木理恵先生をお招きし、ご講演をいただきました。

臨床心理士
植木理恵先生

ストレスの負のスパイラル

誰でも“やる気が起こらない”という時があります。そのような時に頑張ろうとして、グッと自分の感情を押さえこんで我慢すると、ストレスが発生します。

ストレスを感じるとその気持ちを打ち消そうと、心の中で起こったことを否定したり忘れようとしてしまいます。しかし、その行為がかえってストレスを増大させてしまうのです。なぜなら、「忘れる」ためには、必ず「忘れたことを思い出す」作業をしなければならないからです。その結果、逆に深く意識に刻んでしまい、負のスパイラルに陥ってしまいます。

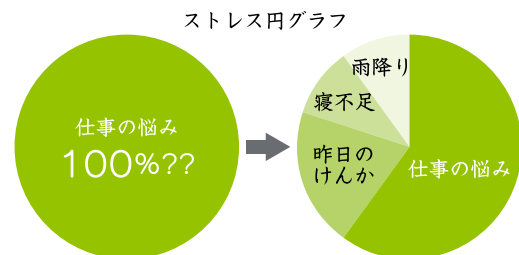


ストレスとの上手な付き合い方

人は気持ちが沈んだ時その感情を否定するよりも、湧き上がってくる緊張や体の異変（痛みや吐き気など）を受け入れ、身を委ねた方が早く立ち直ることができます。つまり、ストレスを受入れ、うらみがましく思い、くよくよ考える「塩塗り療法」が良いのです。物事にもよりますが、そうすることで1時間～長くても2週間あればどうでもよくなってきます。

その他の様々な対処法の中から、より簡単で効果的な方法をご紹介します。

- ＊「同病相哀れむ療法」… 気持ちとギャップがない環境に身を置く方法です。沈んでいる気持ちの時は、元気を出そうとカラオケやパーティーなど賑やかな場所に行くよりも、雰囲気や暗いところや静かなところに行き、心のテンションと環境のテンションを合わせます。
- ＊「円グラフ療法」… 怒りや不安をパーセンテージで表します。人が悩む時は、様々な理由があるにも関わらず、一つのことにくよくよしているように感じるもの。少し冷静になって悩みの理由を細かく分けることで対応策を立て易くなります。
- ＊「ひとり実況中継」… 物事を詳しく言語化（心の中でもOK）することで、自分自身の分析ができ冷静になれます。冷静になることで対応策を考えられるなど、ストレス緩和にも繋がります。



ストレスとの付き合い方を知ることによって、楽しく充実した毎日を送ることができます。

ストレスと向き合う究極の方法

- ＊最後にどのようにしたらストレスを感じなくなるのでしょうか。
それは自己肯定感が強い人、つまり「自分大好きな人」になることです。すると自分に対する自信が生まれ、明日に向かって生きるエネルギーが湧いてきます。例えば、人の役に立ち「私ってなんていい人〜!」と思わずニヤニヤしてしまうことが第一歩です。
- ＊心のモヤモヤを無理に消すのではなく「どうでもいいや」となるまでひたたり、人のために尽くし、自分を好きになりましょう。自然と心がスツと軽くなりますよ!

学園アクト

星祭 ～となり同志で手をつなぐ～

★星城大学★

10月22日(土)・23日(日)に開催された星祭は、記念すべき第10回。今回の星祭のテーマは、「となり同志で手をつなぐ」です。初日の朝は、とても強い雨に見舞われ、企画の進行や模擬店への悪影響が心配されましたが、実行委員、ボランティア、模擬店の方々、そして何より星祭に参加して下さったお客さまの協力のおかげで、まさに「雨ニモマケズ」の開催となりました。

当大学や一般からも参加者を募り、大変盛り上がったステージ企画。前年のノウハウを生かし、さらに趣向を凝らし、大評判だったお化け屋敷。模擬店も活気にあふれ、総踊り、ミュージシャンによるライブでは、皆が一体となり楽しんでいました。



[作業療法学「OT」専攻学生によるパフォーマンス]

生徒会主催 第2回クリスマスカードコンクール

★星城高等学校★

2年目を迎えますますます好評のクリスマスカードコンクールを、今年度も生徒会が中心となり企画をしました。季節感を味わいながら、コンクールという形で、積極的に行事に参加してもらいたい。また、生徒同士の親睦も深めてほしいという願いが込められていました。

作品の募集は、生徒会代議員を通じて各クラスに声を掛け、応募者にA6の用紙を配布。1年生は初めてのことで、戸惑いながらもチャレンジ。2・3年生は経験を活かして、色々な工夫を凝らした作品が多く出品されました。

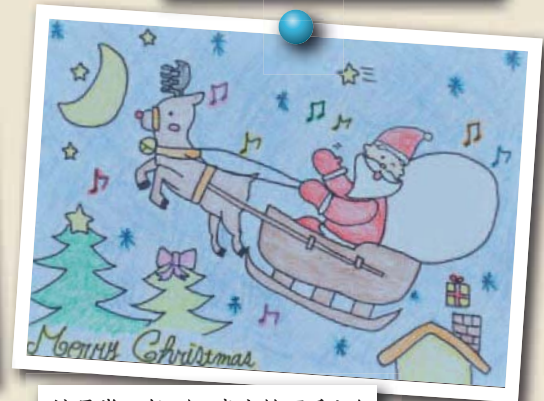
応募総数 63 点。級長、副級長、生徒会代議員、生徒会役員そして、校長先生をはじめとした先生方によって投票が行われ、素敵な力作が多く、どのカードに投票するか大変迷いました。投票の結果、賞品を手にした生徒たちはうれしそうな表情を浮かべており、来年度もまた企画したいという気持ちが強くなりました。



最優秀賞 1年1組 小島今晨くん



生徒会特別賞 3年4組
坂下真理奈さん、則竹遥さん



校長賞 3年3組 青木絵里香さん

御園座・歌舞伎鑑賞

★星城中学校★



10月14日(金)に名古屋・御園座へ歌舞伎鑑賞に行きました。今回は市川團十郎・海老蔵・染五郎などのそうそうたる出演者による舞台。さらに、顔見世公演ということで、襲名披露も組み込まれ、出演者全員の生の言葉が聞けるという、貴重な場面に立ち会うことができました。演目は、一度は耳にはしたことがある「南総里見八犬伝」や、日本三大仇討を描いた「寿曾我対面」など、初めて鑑賞する生徒たちにも比較的理解しやすい内容でした。

鑑賞にあたり、事前学習として、音楽の授業でも歌舞伎について勉強しました。「勸進帳」を題材に、歌舞伎の語源、歴史、作品の分類、舞台、役柄、演出、音楽など、総合的に詳しく学びました。中学1年生には少し難しい内容でしたが、学年が上がるにつれて歴史の勉強とも重なり、興味を持って学習することができたようです。

「星の城は、大きな大きなウータンのいる幼稚園だよ」

★星の城幼稚園★

豊明市文化会館ギャラリーで11月11日(金)・12日(土)と2日間にわたり作品展を行い、個人絵、グループ絵、立体作品などを展示しました。子ども達は園生活の中で、様々な経験を積み重ね、楽しい時間を過ごしてきました。歌や言葉、身体そしていろいろな素材を通して表現する喜びをたくさん感じています。

年長の立体作品「ウータンのいる幼稚園」では、シンボルすべり台を表現!体は、保護者のご協力でたくさん集められ子ども達が絵の具で色を塗った卵の殻、ローラーすべり台になっている背中部分は、トイレトペーパーの芯に色紙を巻いて表現しました。今にもコロコロと滑り降りたくなるようなローラーすべり台が出来ました。大きな台の上に作られた園庭には、年長児85名が勢ぞろい。紙粘土で表現した自分の顔には嬉しそうな笑顔があふれています。イメージを共有し、一人ひとりの力を合わせ、協力して作りあげていくことができるようになった年長児ならではの集大成の場となりました。



体育祭・星誕祭開催!!

★星城大学リハビリテーション学院★

11月11日(金)体育祭が行われ、ドッジボール、綱引き、リレーなど、学生教職員入乱れての熱戦が繰り広げられました。学生の中には年長者も多いのですが、10代の学生に負けないくらい走りまわり、ハッスルする場面も見られました。

翌12日(土)には星誕祭を開催。模擬店、フリーマーケット、器具展示、アームレスリングや卓球大会、バンド演奏などの様々なブースが出展。メイン会場では研究発表、ミスコンなどが行われました。



研究発表では、日頃の学習成果の報告や、入学動機や学校生活アンケート調査を基に学生の本音に触れる内容に、会場が湧きました。また一大企画であるミスコンでは、男子学生が女装、女子学生が男装をして登場!教員の数人も学生服を着て(もちろん女装もして)参加しました。

体育祭・星誕祭を通して学生同士の輪も広がり、また教職員との距離もぐっと近くなりました。普段見せる真剣な表情とは違う顔が見られた2日間となりました。



新春に学ぶ

中等教育研究部

1年間の研究と1月7日に星城高等学校で行われた研究発表を振り返り、お二人の先生にお話しをお聞きました。



私は、「論理的に考えることのできる生徒の育成」をテーマとしています。「話し合い」と「書く」ことを通して、自分の考えを持ち、その理由を明確に伝えることのできる生徒を育てることを目指しています。知識だけではなく、思考力・想像力を高めていきたいと考え、授業記録を基に授業の改善に取り組んでいきます。(国語 加古泰資先生 写真左)

探究的な学習を通して、「自然現象に対して意欲的に取り組む生徒の育成」を研究テーマとしてきました。自然現象に興味を持ち、仮説を立て、実験方法を考えて実験し、考察する。さらに、生徒同士の話し合いによって考えを深める。このような探究的な学習を通して、今後も理科好きの生徒を育成したいと考えています。(理科 近藤英章先生 写真右)



星の城幼稚園PR
真っ白な雪山、
友達と一緒にそり遊び!

1月27日(金)長野県のヘブンスそのはらスキー場へ、年長の子ども達が雪山遠足に出かけました。各クラス1台ずつバスに乗って出発!スキー場に着くと、大きなゴンドラに乗車。窓から見える景色は雪!雪!雪!山も木々も真っ白の世界です。

幼稚園の友達と一緒に出かける初めてのスキー場。嬉しさどドキドキ感いっぱい輝く子ども達の表情。リフトに乗って、そり遊びのゲレンデへ、広々としたスロープ・真っ白な雪が一面に広がっています。うれしくて、つい雪の中へジャンプ!ふわふわの気持ちよい雪でした。そり遊びは友達2人で1つのそりに乗ります。「行くよ!」の掛け声で、先生に背中を押してもらいスタート。始めのうちは降ったばかりの雪のためなかなかスピードが出なかったけれど、だんだんとスピードがでて、気持ちも高まってきました。

小高い斜面登りも難しいけれど、楽しくトライ。上に立った時の表情は満足感いっぱいでした。もちろん雪合戦、かまくら作り、雪だるま作りも…。

この寒い季節ならではの雪遊び・そり遊びを十分に楽しんだ子ども達。帰りのバスではおやつを食べ、ホッとしたところで、うとうと夢の世界へ。

幼稚園最後の遠足、心に残る楽しい思い出の1つになったことと思います。



名古屋石田学園 永年勤続者
(順不同・敬称略)

30年

間瀬 克彦 星城高等学校 木下 秋次 星城高等学校
山田 芳樹 星城高等学校 出井 孝司 法人本部

20年

中島 英司 星城大学 大石 幸永 星城高等学校
竹内 孝文 星城高等学校 本藤 愉美子 星城高等学校
澤田 満 星城中学校 三根 一比古 星城中学校

10年

弓場 将司 星城高等学校 丸山 倫子 星城高等学校
三浦 明美 星の城幼稚園 石田 泰城 法人本部

星城高等学校
学園で活躍

星城高等学校 第27回生
名古屋明德短期大学第4期生
神原 直美さん

■本学園の職員を志望した動機
就職活動中に、非営利団体を志望していたこともあり、短大の就職担当の先生から卒業した星城高校の事務を薦められました。自分が卒業した高校に就職する機会を与えていただけたとは思っていませんでしたが、3年間過ごした学校なので、建学の精神も理解していますし、恩師もいますので、安心して仕事が出来ると思い、志望しました。

■学生時代、印象に残っている思い出
先生方との出会いです。私は、個性豊かな先生方の授業及び私学特有の多彩な授業によって、勉強する楽しさを教えていただきました。また、私の個性を認めてくれる先生のお陰で、自分自身の存在を認めることができました。先生方との出会いのお陰で、現在このように母校で勤務できていると思っています。

■働く上で、大変なこと
仕事をするということは、どんな些細なことでも大変です。しかし、そのように思っ仕事をしていれば、仕事に対する責任も感じられると思います。職場には、信頼・相談ができる上司がいますので、困難な状況になった場合は、相談をして乗り越えています。

■やりがいを感じる時
新たな業務の担当になり、その業務が滞りなく完了したときには、充実感があります。また、定期的実施するような業務の場合、その内容について点検し、次に実施するときに改善をします。それによって、よりスムーズに業務が遂行されたときは、改善することの大切さに気づきます。

■後輩に一言
縁を大切にしてください。本学園に通学している縁、先生や友達に出逢った縁。そういう縁や人との繋がりが、今後の将来に必ず生かされます。

ピアニスト 辻井伸行さん母が語る
辻井いつ子氏 教育講演会

「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」

入場無料

4/14(土)
受付/14:00~ 講演/14:30~16:10
会場/ミッドランドホール(名古屋駅より徒歩5分)

■申込方法:往復はがきにて ①お名前②年齢③〒④住所⑤電話番号を明記し、下記住所までお送りください。(はがき1枚につき、1名様のご応募とさせていただきます)
■締切3/16(金)必着 ■応募者多数の場合は抽選
■〒476-8588 東海市富貴ノ台2-172 星城懇話会 教育講演会 P係

主催:星城懇話会 後援:愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会

学校法人
名古屋石田学園
法人本部 企画室

〒460-0008
名古屋市中区栄1丁目14番32号
Tel: 052-221-8921
Fax: 052-203-5243
URL: <http://www.n-ishida.ac.jp/>
E-mail: main@n-ishida.ac.jp